

全校朝会 「 あいさつをしよう -オアシス運動- 」

令和8年4月13日（月）

奥沢小校長 前田 恵里

今日は、今年度初めての全校朝会、放送による朝会です。1年生も見て聞いていますね。少し難しいお話もあるかと思いますが、しっかりと聞きましょう。

今年度も挨拶を大切にしていきたいことと、1年の始めでもありますので、今日は、改めて「挨拶」の話をします。2年生から6年生のみなさんは、思い出しながら聞いてください。みなさんは「オアシス」という言葉をおぼえていますか。「あいさつをするときの合言葉」としての「オアシス」を思い出していきましょう。



みんなであいさつをしようと心がけることを「オアシス運動」といいます。では、「オアシス運動」の「オアシス」とは何か、みなさんで確認していきましょう。オアシスのオは「おはようございます」、アは「ありがとうございます」、シ「しつれいします」（職員室や他の教室に入るときの挨拶です。）、スは「すみません」です。オ・ア・シ・スのそれぞれの意味を覚えて、進んで使ってみましょう。

また、ほかにも、挨拶には「こんにちは」や「こんばんは」、「ってきます」や「ただいま」、「いただきます」や「ごちそうさま」など、生活の中のいろいろな場面で使うものがたくさんあります。自分がどんな挨拶をしているか、今月は新年度の始まりでもありますから、確認してみるといいですね。

「オアシス」にはいろいろな意味があります。ここで本来の意味を紹介します。オアシスとは、本来、砂漠の中で水が沸き樹木が生えているところのことを指します。水のない砂漠に一つの望みを与えてくれる水の沸く場所のことを言うのですね。このことから、一般的に、疲れをいやし、心に安らぎを与えてくれる場所のことも「オアシス」と呼ぶことがあります。奥沢小学校の児童のみなさんの挨拶も、きっとみんなの心をいやし、そして元気にする力があると思います。

始業式で話した「教えの種」。校長先生からの一つ目は、「あいさつの種」です。これは、今日から咲かせられる花です。お手入れをして1年間、あいさつの花を枯らさないよう育てましょう。そして、みなさんが大人になった時、豊かな未来を創るためには、挨拶は欠かすことができません。挨拶は人と人が繋がっていくために、最も基本的なことです。いつも決まった人や仲の良い友達だけでなく、誰とでも丁寧な挨拶をこれからも心掛けて実践していきましょう。